

学習目標		
(1)良いこと悪いことを判断し、正しいと思ったことは勇気を持って行動しようとする子どもを育てる。		
(2)自他の良さに気づき、助け合って伸びていく子どもを育てる。		
(3)生活を振り返り、粘り強くやり遂げようとする子どもを育てる。		
月	単元・題材名	学習内容
4	めざまし時計 貝がら ブラッドレーのせいきゅう書	自分の決めたことを続けていこうとする『わたし』の気持ちを考えることを通して、自分でできることは自分でやり、節度のある生活をしようとする態度について考える。 「今度こそ、中山君と仲良しになれる」と思ったぼくの気持ちを考えることを通して、友達と互いに理解し、信頼し、助け合おうとする態度について考える。 母の無償の愛に気がついたブラッドレーを通して、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくろうとする態度について考える。
5	よわむし太郎 あめ玉 ふしぎのふしぎ	太郎の行動を考えることを通し、正しいと判断したことは、自信をもって行おうとする態度について考える。 ガムを踏んで不愉快だった「わたし」が、電車の中の姉妹の行動を見て気持ちが変化していく様子を考えることを通して、公共のものや社会のきまりを大切にしようとする態度について考える。 命は誰のものなのかを考える主人公の気持ちを通して、生命の不思議さや大切さを感じ取る心情について考える。
6	せんそうがあったころの広島 ありがとう大塚さん ワールドカップのごみ拾い さいたよ、光祐君のアサガオ	戦争中家族で助け合い家族のためにできることをけんめいに行うゲンの気持ちを通して、家族の一員として協力し合う心情について考える。 大塚さんに教えてもらった時の気持ちを考えることを通して、自分たちを支えてくれている高齢者を尊敬し、感謝の念をもって接しようとする心情について考える。 日本のサポーターがどのような状況でもごみを拾う気持ちを考えることを通して、みんなで使う場所やものを大切にしようとする心情について考える。 光祐くんの死の悲しみを乗り越えようとするまみこさんの気持ちの変化を考えることを通して、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする心情について考える。
7	ぼくらは小さなかにはかせ 思いやりがあふれる町	くじけずに調べていく3人の気持ちの変化を考え、自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜こうとする意欲について考える。 声をかけてくれた友達や地域の人たちの行動を考えることを通して、相手のことを考え、思いやりの心をもって接し、進んで親切にしようとする態度について考える。
9	キウイフルーツのたのなの下で ナホとメグ—いつもいっしょだね— カンボジアから来た転校生 森のいのち	何も言えなかったまりこが、はっきりと自分の考えを伝えることができた行動を通して、正しいと思ったことは、自信をもって行おうとする態度について考える。 ナホとメグの心のつながりを通して、友達と互いに理解し、信頼し、助け合おうとする意欲について考える。 ラミー君がスピーチ大会に出場するまでの気持ちの移り変わりを考えることを通して、他国の人々や文化に親しみ、関心をもとうとする態度について考える。 いくつもの命が、森という大きな命をつないでいく変化を通して、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にしようとする心情について考える。
10	ゆめを追って—本田宗一郎— 同じなかまだから もどらない本 ヒキガエルとロバ	真心をもって車を直し、夢をもって世界一早いオートバイを作ろうと努力した本田さんの、物事に取り組む姿勢を通して、強い意志をもって、目標に向かって粘り強く努力しようとする心情について考える。 自分たちのあやまった行為や気持ちに気付いていくも子とひろしの様子を考えることを通して、友達と互いに理解し、信頼し、助け合おうとする心情について考える。 借りた本を安易に他人へ貸してしまったひさしの行動を通して、約束やきまりを守ろうとする態度について考える。 ヒキガエルの命を必死に助けようとするロバの姿を見たアドルフの気持ちの変化を考えることを通して、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする態度について考える。
11	びしょぬれの本 なかよしタイム 父が教えてくれたもの 幸せの王子	本をぬらしてしまった後のエイブの行動を考えることを通して、過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活しようとする態度について考える。 友達の言い分を聞きながら、「ぼく」のとった行動を考えることを通して、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にしようとする態度について考える。 3人の息子たちの行動を考えることを通して、働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこととする態度について考える。 王子とつばめの気持ちを考えることを通して、美しいものや気高いものに感動する心情について考える。
12	まどガラスと魚 言葉のまほう おばあちゃんのおせち	隼人の気持ちの変化を考えることを通して、過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活しようとする心情について考える。 ぼくの気持ちの変化を考えることを通して、礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接しようとする心情について考える。 おせちを教わりながらきりちゃんがり思ったり感じたりしたことを考えることを通して、日本に伝わる文化や伝統の良さを知り、大切にしていこうとする心情について考える。
1	清のゆめ—山下清— さしのべた右うで 大なわとび	自分のよさを活かそうとする清の気持ちを考えることを通して、自分の特徴に気付き、長所を伸ばそうとする心情について考える。 森川さんの言動について考えることで、相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情について考える。 みち子がよう子の気持ちを考えて、みんなに訴えたことを考えることを通して、誰に対しても仲間ははずれにしないで、公平に接する態度について考える。
2	良太のすばん たんじょう会のおにぎり 花さき山	良太がどうして電話番号を教えなかったのか、良太の考えについて考えることを通して、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をしようとする態度について考える。 おばあちゃんの愛情に気付いた「ぼく」の気持ちの変化を考えることを通して、父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくろうとする態度について考える。 山んばの話やあやの気持ちを考えることを通して、美しいものや気高いものに感動する心情について考える。
3	千羽づるのおみまい お父さんとぼくの学校	さえ子に対する友達の行動を考えることで、相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情について考える。 校歌の歌詞にこめられた意味について知った、さとしの気持ちの変化を考えることを通して、先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくろうとする心情について考える。
評価の観点		
・道徳科の授業においてみられる、児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取り、個人内評価として文書で記述します。		
評価の方法		
会話 ノート 作文 質問紙等		